

イタリアの公文書館

資料3 令和4年11月18日(金)
第7回 魅力ある新国立公文書館の
展示・運営の在り方に関する検討会

イタリアには国立中央文書館に加えて、国立文書館が各県庁所在地に100館存在し、県庁所在地でない都市においては、県庁所在地の国立文書館の下部組織として35セクションが存在。双方とも、イタリアにおける文書管理政策を担う文化省アーカイブズ総局が管轄している。

○国立中央文書館（ローマ）

- ・ローマ郊外の新都心地区に立地。
- ・イタリア統一(1861)以降の中央官庁において作成された文書等を保存（大統領府、議会、外務省、軍の文書を除く。）。
- ・公文書に関する講座を開催し、各省庁担当者の研修等を実施するほか、大学生のインターンシップも受入れ。
- ・所蔵文書量は約160km。



○国立ローマ文書館（ローマ）

- ・ローマ中心部に立地し、13世紀に建てられた大学の建物を利用し、教会を併設する。
- ・イタリア統一前の各国家の中央政府や、ローマ区域に所在する統一後の国家機関が作成した文書、教皇庁の文書やローマ区域の裁判記録を保存。
- ・公文書を扱う講座を開講する学校を併設。
- ・所蔵文書量は約60km。



Archivio Centrale dello Stato



イタリア国立中央文書館





右下画像：イタリア国立中央文書館のHPより

「イタリア・リビア：考古学の場所、アーカイブからフィールドワークまで」展



2022/06/17～30開催

画像：イタリア国立中央文書館のFacebookより



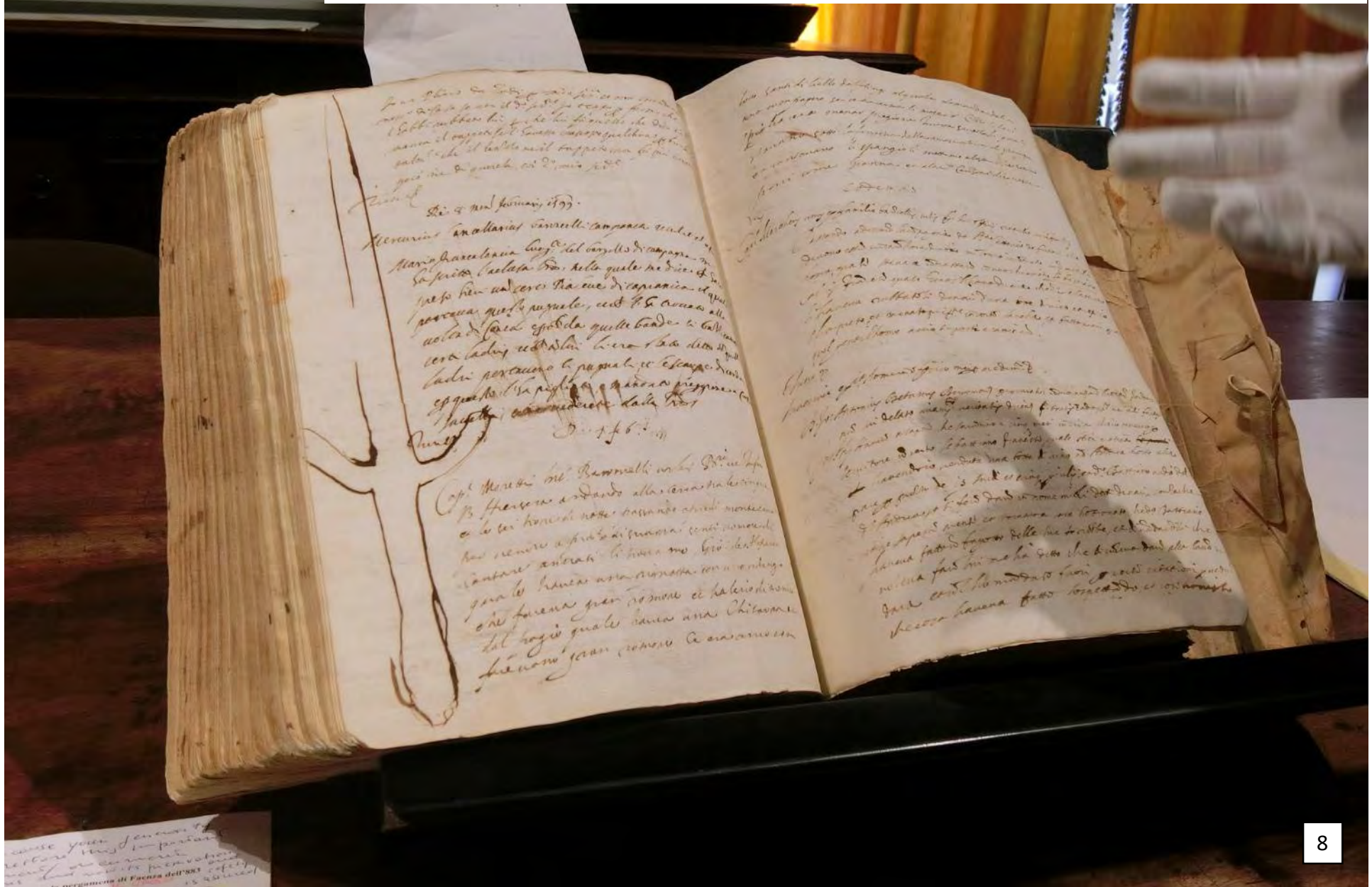
イタリア国立ローマ文書館



「アーカイブペーパーからアーティストペーパーへ-植物標本、葉、紙：創造性のための貴重な資源-」



カラヴァッジオ（バロック期の画家）に関する刑事裁判所の記録。1598年、警察作成の登録簿。午前2～3時にナヴォーナ広場近くで、剣の無許可携帯で連行。枢機卿デル・モンテの庇護下にあったため一旦釈放されたが警察官に悪態をついて再逮捕。携帯していた剣の詳細な図解あり。





国立アーカイブズ・図書資料虫菌害 中央機構



博物館

記録媒体の材料と製造技術、
文書の損傷とそれを引き起こす要因
(戦争、虫害、火災、水害等)、
予防と回復について展示している。





地震



火災



戦争



11

水害